看護科Q&A

Q1 卒業時の資格を教えて下さい。

・高校卒業時点では、何の資格もあたえられません。高校卒業だけです。

・専攻科2年間修了時点で得られるのは
① 看護師国家試験受験資格
② 准看護師資格試験受験資格
③ 助産師・保健師・養護教諭の養成所受験資格
5年間修了しても看護師国家試験に合格しなければ看護師にはなれません。

Q2 看護師国家試験を教えて下さい。

- 看護師国家試験は例年2月中旬に全国11箇所で行われます。
- 全国の合格率は例年90%前後です。年1回の試験ですので、試験に不合格となった場合は翌年に再受験ができます。しかし、既卒者の合格率は44.4%(5年一貫においては、32.7%)と低くなっています。
- 過去5年間の看護師国家試験合格状況は以下のとおりです。

試験年	全国			本校		
	受験者数	合格者数	合格率(%)	受験者	合格者	合格率(%)
令和3年	66,124	59,769	90,4	39	39	100
令和2年	65,569	58,514	89,2	38	37	97,4
平成31年	63,603	56,767	89,3	35	35	100
平成30年	64,588	58,682	91,0	38	37	97,4
平成29年	62,534	55,367	88,5	37	37	100

Q3 看護科の男子生徒は何人ですか？

・平成22年から本校は共学になりました。
現在男子生徒の人数は以下のとおりです。

学年	高校1年	高校2年	高校3年	専攻科1年	専攻科2年	合計
看護科人数	40名	39名	39名	38名	37名	193名
内男子人数	2名	1名	1名	0名	1名	5名

- 平成30年の就業男性看護師は、9万5155名(看護師121万　8606人のうち)であり、この10年で倍増しています。本校においても男子生徒が5名在学しております。

男子の割合 3%

Q4 看護科の授業を教えて下さい。

- 高校の時は、45分７コマ授業で、授業終了は15時40分です。専攻科になると、100分授業の４コマ、授業終了は16時35分なります。
- 高校3年間の専門科目の割合は、学年が進むと増えていきます。一般科目と専門科目の割合が7対3で、一般科目の授業が少ないため、高校卒業時に進路変更すると大学受験は不利となります。
あくまでも5年間で卒業する気持ちで看護科を選択して下さい。
- 専攻科2年間は、圧倒的に専門科目が多くなり、専攻科2年では5月から9月まで実習になります。

Q5 実習はどこで行うのでしょうか？

学年		実習日数	実習施設
高校	2年	13日	・みやぎ県南中核病院(大河原) ・仙台西多賀病院(仙台) ・公立藤田総合病院(福島)
	3年	23日	
専攻科	1年	44日	・みやぎ県南中核病院(大河原) ・総合南東北病院(岩沼) ・県立がんセンター(名取) ・県立精神医療センター(名取) ・JCHO仙台南病院(仙台) ・広南病院(仙台) ・仙台西多賀病院(仙台) ・仙台赤十字病院(仙台) ・県立こども病院(仙台) ・イムス明理会総合病院(仙台) ・国見台病院(仙台) ・坂総合病院(塩竈) ・公立藤田総合病院(福島) ・宮城病院(山元) ・福島赤十字病院(福島) ・老健施設さくらの杜(大河原) ・緑の里クリニック(岩沼) ・友愛作業所(名取) ・やまぶき作業所(白石) ・保育園(白石) ・市町村役場(白石・大河原・蔵王・七ヶ宿・村田・柴田・角田) ・居宅介護支援事業所 ・角田支援学校 など
	2年	72日	
合計		152日	43箇所

Q6 自宅外通学の生徒はいますか？

- 看護科は県内に1校しかありません。遠い県北エリアや三陸エリアから入学してくる生徒もいます。
- 学校には寮はありません。看護科で自宅外から通学している生徒は以下のとおりで、アパートでの1人暮らしと祖父宅の4名です。

学年		自宅外通学	出身中学校
高校	1年	1名	広瀬
	2年	0名	
	3年	1名	松島
専攻科	1年	2名	気仙沼新月・鹿島台
	2年	0名	
合計		4名	

Q7 5年間の経費を教えて下さい。

- 令和3年度の授業料とその他納入金は以下のとおりです。
この他に実習先までの交通費は自己負担となります。

学年		入学金	授業料	その他納入金	
高校	1年	5,650円	118,800円	71,000円	通常の納入金の他に看護副教材費等が加わる
	2年		118,800円	63,000円	通常の納入金の他に看護副教材費・実習費などが加わる
	3年		118,800円	87,000円	通常の納入金の他に看護副教材費・実習費などが加わる
専攻科	1年	5,650円	118,800円	139,000円	教材費・国家試験対策費・研修旅行費など
	2年		118,800円	87,000円	教材費・国家試験対策費・国家試験受験費用など

※高校1～3年生については保護者等の県民税・市町村民税所得割額の基準を満たせば、授業料に充てる就学支援金が支給されます。

Q8 卒業後、大学へ編入できると聞きましたが、本当でしょうか？

- 大学でさらに専門性を深めたいと希望する学生に対して、高校専攻科の修了者において大学編入資格が、認められるようになりました。本校においても、認められています。

看護科卒業生から Message

私は人と関わることが好きで看護師を目指し、その夢を叶えることができる白石高校への進学を決めました。

高校では普通教科の学習や部活動と両立しながら看護を学ぶことができます。そして、高校２年生からは実習が始まり、専攻科ではより過密なスケジュールでの実習、専門性の高い授業が続きます。そのため、楽しいだけでなく困難なことも多く、私自身、何度も挫折しそうになりましたが、学ぶことの喜びや達成感を味わうことができました。それは、厳しく温かくご指導くださった先生方、そして５年間同じ夢を持ちながら共に頑張ってきたクラスメイトの支えがあったおかげです。共に支え合い、励まし合うことで充実した学校生活を送れ、全員が看護師国家試験に合格することができました。

私は実習を通して、地域で人々の健康を守りたいという思いが強くなり保健師を目指しました。進学先では全国各地から、５年一貫校や専門学校、大学を卒業した人達が保健師や養護教諭を目指して集まっています。不安はありますが、新しいクラスメイトや先生方との出会い、そして、とても恵まれた環境の中で学べることに感謝して高い志を持って努力していこうと思います。

看護を学ぶ中で助産師や保健師、養護教諭などより専門的な分野に興味が出てくる方もいると思います。白石高校では先生方の手厚いバックアップのもと新たな道にも挑戦できます。現在看護師を目指している方、そして早くから看護を学び選択肢を広げたい方は、是非白石高校で夢を叶えて欲しいと思います。新型コロナウイルス感染症の感染予防を徹底して、体に気をつけて頑張って下さい。応援しています。

富山県立総合衛生学院
保健学科進学

私は看護師になりたいという夢を最短で叶えるべく白石高校看護科に入学しました。高校１年生から看護の勉強ができ、分厚い教科書を使っていたので当時はとても鼻が高かったです。白石高校は統合して新校舎になって日が浅いため、校舎が比較的綺麗なことも魅力のひとつだと思います。看護科は遠くから通学している人も沢山おり、私のクラスで１番遠い人は富谷から通学し、柔道部で部活動に励んでいました。電車の中で友達とお話する時間や勉強する時間はとても楽しく良い思い出です。課題やテストが沢山あり、投げ出したくなることもありましたが、白石高校に入ったことを後悔したことは一度もありません。壁にぶつかった時には支えてくれるクラスメイトや先生方、家族がいました。

高校では陸上部に所属し、部活動中心の生活でした。私達の代は男女合わせて10名という少人数ではあったものの、そのうち６名が東北大会に出場することが出来ました。学校の近くに400メートルのトラックがあるため、陸上をするにも環境が整っていると思います。臨地実習では患者様から素敵な看護師になってねと手紙を頂き、ずっと大切に飾っています。修了した今でも、私はこの白石高校が、そして５年間一緒に頑張った仲間が大好きです。白石高校では看護師の国家試験受験資格を得ることができ、その先にある助産師や保健師学校への進学などの選択肢が広がります。そしてこのコロナ禍で看護師は需要が高まっています。皆さんと近い将来、医療従事者として一緒に働けたら嬉しいです。修了生として応援しています。

スズキ病院附属
助産学校進学

中学生の頃祖父が入院した時に、患者さんの話を真剣に聞いて患者さんに寄り添っている看護師の姿を見て看護師を目指すようになりました。そして最短で看護師になれ一日でも早く患者さんの力になれる白石高校看護科に入学しました。

実際に入学してみて学年が上がるごとに本格的な看護の勉強や実習が始まっていき、課題をこなすことや目の前のことで精一杯で不安なことや辛いことも多々ありました。しかし、周りの友達など同じ志を持って同じ困難に立ち向かいながらも支えてくれる人が居たからこそ５年間を乗り越え、無事国家試験に合格し看護師として働くことが出来ました。ここで出会った仲間との出会いは一生の宝物になると思います。

現在私は自分のやりたかった患者さんに寄り添える看護が出来ると思い精神科で勤務しています。慣れないことや戸惑うことも多いですが、学んだ技術やコミュニケーションは臨床の場でも活かされています。また、実習病院だったこともあり先輩方も温かく迎えてくださり、日々患者さんのためにも頑張ろうという想いで仕事に励むことが出来ています。

15歳という年齢で将来を決めることはとても難しく勇気が要りますが、逆にその時から看護師になりたいという想いを持った仲間が集まります。簡単な道のりでは無いですが、５年間を乗り越えた先には夢に近づいた自分が居るはずです。皆さんも自分の夢を追いかけて叶えてください。修了生として皆さんのことを応援しています。

宮城県立病院機構
精神医療センター勤務

私は、幼い頃に入院をしたことをきっかけに看護師という職業に強い憧れを抱き、白石高校の看護科に入学しました。日々の授業やテスト、実習を乗り越えながら、忙しくも充実した５年間だったと感じます。学生生活を思い返すと、楽しい思い出ばかりではなく、辛いことや苦しいことにも多く直面しました。しかし、そんな時は必ずクラスメイト、先生方がいつも親身になって話を聞いてくださいました。様々な感情を共有しながら、同じ夢に向かって切磋琢磨した仲間は、私にとって一生の宝物です。看護師を目指すうえで、支え合える仲間、真摯に向き合い手厚い教育をしてくださる先生方に出会える白石高校は、最適な環境だと思います。

私は現在、CCU（冠疾患治療室）に勤務してます。学生の時と比べ重症度の高い患者様をみることに戸惑いもあり、まだ慣れない生活が続いていますが、白石高校で培った基礎は現場でも生きていると実感しています。幼い頃からの夢を実現し、看護師として患者様に関われていることに日々やりがいを感じています。根拠を持ち、個別性を配慮した看護の提供ができるよう、今後も学び続けていきたいと思います。

15歳という年齢で将来を選択するのは簡単なことではないと思いますが、白石高校で過ごす５年間はとても充実し、何にも代え難い素敵な思い出になると思います。看護師になりたいという強い思いがあれば、必ず成長できる場所です。ぜひ白石高校で夢を実現してほしいと思います。修了生として、皆さんを応援しています。

学校法人東京女子医科大学病院勤務